

第2回/

奈川ぐるぐるカフェ2023



2023.11.28(火)18:30-20:30
奈川文化センター夢の森 福祉ひろば

ぐるぐるカフェについて

今年度2回目の奈川ぐるぐるカフェ。このカフェは、集まった人たちで話したいと思っているテーマで話し合い、そこから生まれたアイデアを実際に試すための準備を進める場です。ここで生まれた活動をお互いに応援し、支え合っていくことについても改めて共有しました。

参加者

奈川地区にお住まいのみなさん
奈川地区にお勤めのみなさん
松本市役所職員のみなさん
信州大学の学生さん

合計17名

話題提供

冒頭、小出さんから環境省主催の「自然資源を活用した上質なツーリズムの実現」という研修プログラムに、関谷さん、一志さん、南さんとともに参加してきた報告がありました。さらに今後の活動概要やチームを立ち上げた経緯などについても話しいただきました。以下、小出さんからの報告です。



研修では「インタープリテーション」という言葉を学びました。インタープリテーションとは、例えば森を見に来た人が木を見ただけではわかることが少ないですが、その木が植えられた経緯や森がなぜできたのかの説明を楽しく「通訳」して伝えるような、教育的コミュニケーションのことだそうです。奈川の暮らしや歴史文化の価値について、それらをうまく伝えることで、奈川ファンや応援してくれる人を増やしていきたいと考えています。これは、「奈川のみかたをふやす道標」にも書かれている「見方」や「味方」を増やすことにもつながると思っています。4人が中心になってこれからの奈川のツーリズムについて考え、地域のみなさんとも一緒に体制をつくり、関わっていただきながら進めたいと思っています。

話し合い

子育て・子どもたちの学びについて

これまでのぐるぐるカフェにおいて、子育てや子どもたちの学びについてのさまざまな声をいただきました。その中から今回は主なテーマを4つ設定し、グループに分かれて話し合いを進めました。各グループで出された意見を抜粋してご紹介します。

地域での子どもの学び

【視点1】奈川ならではの学びを通して、奈川っ子はこんなことができる！という社会を生き抜く力をつけてもらいたい。

【視点2】将来奈川に帰ってくることも選択肢の一つだと思える学びのあり方を考えたい。そのためには、地域の人たちが、奈川ならではの”生きていくための力”を育む授業ができればよいのではないか？

保育園の活用

いい建物があるのに使わないのはもったいない。他の用途でも活用できないだろうか。

→実際使ってみてさまざまな課題も見えてきた。

【アイデア1】使いたい人を募集しながら、検証を重ね、結果をまとめて市に報告する。

【アイデア2】気軽に寄り道できる場として開放する。

→ベンチプロジェクトとのコラボも可能！？



子育て層（大人）への取組み

【現状】移住者に対する受け入れ体制や情報の共有の仕方は検討の余地あり。現状は移住者自身が頑張らないといけない。

→一歩踏み込んだ丁寧な説明が必要だったのではないか？（市）

【希望】大人が学べる機会があるとよい。

→その際の子どもの見守りなど、どんな支援があれば可能かは、当事者に聞いてほしい。

その他

【課題】子どもへの関わりが少ない人や移住者を地域がどう応援できるか。

→「頼みづらさ」と、「どう手伝ったらいいか」をつなげるには、何らかの場が必要なのではないか。

→無理にマッチングしてほしいわけでもない。自分たちの立場でできることをすることが、子育てしやすい環境に近づいていけばうれしい。

今回のごはん

今回のごはんも、スープが2種類で、炊飯器でつくれる「簡単スープ」をご用意。差し入れも、お赤飯やりんご、ラスクや飛騨牛サラミなど、今回も盛りだくさんでした。ふだんの夕飯とは一風異なったメニューに、「次回も楽しみにしています」とのお声もいただきました！次回もお楽しみに。



今後について

奈川ぐるぐるカフェは、奈川に住んでいるみなさま、奈川に関わっていらっしゃるみなさまなどどなたでもご参加いただけます。ぜひご参加ください。詳しくは、奈川地区地域づくりセンター（0263-79-2121）まで。

